

施策番号	0403		
施策名	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ		
概要	自主的に取り組む地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップを確立するため、京都市が新たなしくみづくりや支援機能の強化を図る。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関係する 主な分野別計画等			

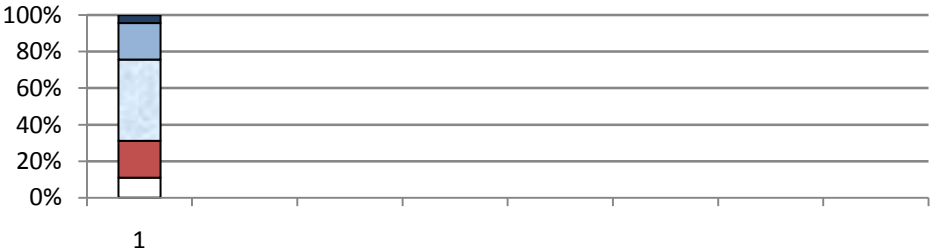
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている 学区数(学区)	-	-	47	56	53	105.6%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			—	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答						有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	町内会，自治会などの地域の組織の主体的な活動と，それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。	23	106	236	107	58	530	c	
		4.3%	20.0%	44.5%	20.2%	10.9%			
2	-							-	
3	-							-	
4	-							-	
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						c	



- そう思う
- どちらかと言とうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言とうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						23 年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c			
(重み付けの理由) 地域コミュニティは共同体意識を基礎とすることから、その協力体制も実感されることに意義があるため、市民の実感に重みを置く。								
(原因分析) ・客観指標については、平成23年度にまちづくりアドバイザーを3名増員して14名体制とするなど、機能の充実に取り組んでおり、年6学区増の目標を上回る9学区増となった。 ・市民の実感については、4割以上の方が「どちらとも言えない」と回答されているが、否定的な回答が肯定的な回答を上回ることから、地域コミュニティと本市とのパートナーシップの確立と周知を強化する必要がある。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	個性あふれる区づくり推進事業	361,278	—	普通	文化市民局
2	地域コミュニティ活性化策の推進	16,779	40,729	かなり良い	文化市民局
3	各区基本計画推進事業	100,310	—	かなり良い	文化市民局
4	【北区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	55,408	—	区役所
5	【上京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	61,118	—	区役所
6	【左京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	78,401	—	区役所
7	【中京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	58,332	—	区役所
8	中京区まちづくり次世代推進者共育支援制度	2,003	—	かなり良い	区役所
9	【東山区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	49,935	—	区役所
10	【山科区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	63,129	—	区役所
11	【下京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	61,750	—	区役所
12	【南区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	81,214	—	区役所
13	【右京区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	95,474	—	区役所
14	【伏見区】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	64,737	—	区役所
15	「伏見学連続講座」の開講	4,652	—	かなり良い	区役所
16	【醍醐支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	15,106	—	区役所
17	【西京区・洛西支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	98,216	—	区役所
18	【深草支所】区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	—	71,732	—	区役所
19	大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進	33,589	—	かなり良い	区役所
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・まちづくりアドバイザーが支援を行う学区数を増やす取組はもとより、地域活動・市民活動を支援するポータルサイトの構築や、地域コミュニティ活性化に必要な情報提供、助言などを行う総合相談窓口「地域コミュニティサポートセンター」などの取組により、地域コミュニティと本市とのパートナーシップの確立と周知に努める。

施策名	0403	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ				
指標名	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)					
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 4 9		
1 指標の説明						
地域コミュニティの自主的な活動に対し、まちづくりアドバイザーが支援を行っている学区数						
2 指標の意味						
住民が主体的に課題に取り組むまちづくりに向けて、地域組織と京都市の共汗によるまちづくりの進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：まちづくりアドバイザーへの調査						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	47	56	9件増	53	平成22年度の現況値が47学区であり、平成23～32年度に110学区（年6学区増）にすることを目標とする。	105.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		110学区	32年度	50.9%	平成23年度から32年度に年6学区増	
5 評価基準						
目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%～99% c：80%～89% d：70%～79% e：69%以下						
6 基準説明						
目標値をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
		23	24			
-	-	a				